

ぎなかった。

筆者は富士山にて採集された本種を所持しているのでここに記録を発表しておきたい。



1 ex., 静岡県富士山,
1. VII. 1973,
深町宗通採集
裏富士3合目付近で、
直径70~80cmのオオシ
ラビソ倒木中(樹皮下5
cm程度)から採集したと
のこと。

貴重な標本をご恵与さ
れた深町宗通氏、本種を
同定して下さった黒沢良
彦博士に深謝したい。

(付記)本種の野外にお
ける発生期は7月下旬
と思われるので、その頃、

同地付近のオオシラビソ倒木(付近一帯はオオシラビソ
の純林)を調べれば、追加記録も出やすいと思う。

(〒110 台東区台東2-29-6)

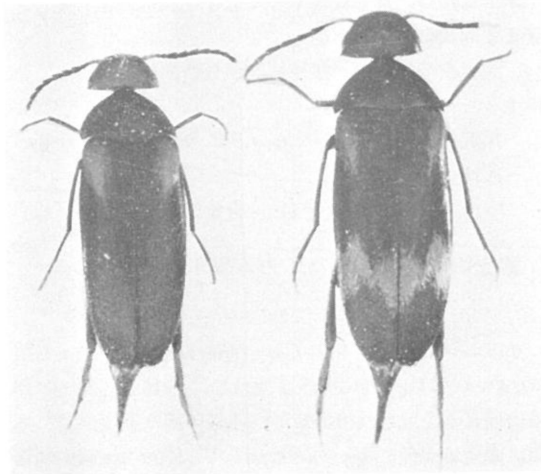
九州未記録のニセヒメハナノミ属2種

高桑 正敏

次のハナノミ科ニセヒメハナノミ属 *Falsomordelli-*
stena 2種は、まだ九州より記録されていないと思われ
るので、ここに報告しておく。

1. サトウヒメハナノミ *F. satoi* (NOMURA)

1 ex., 福岡県宝満山, 4. VI. 1968, 入江平吉採集
触角はいくぶん3>4節, 後肢段刻はきわめて短く不
明瞭だが、ほぼ6:5:2:0。



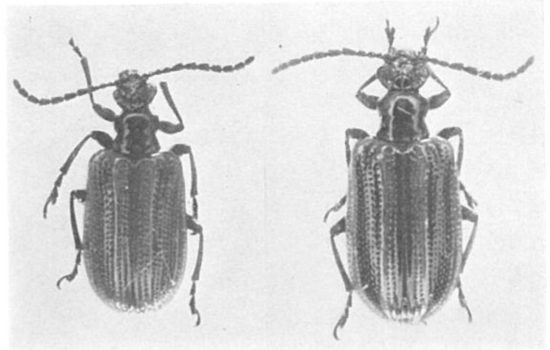
左: サトウヒメハナノミ 右: ナカネヒメハナノミ

2. ナカネヒメハナノミ *F. aurofasciata* (NAKANE)
2 exs., 福岡県宝満山, 2. VI. 1968, 入江平吉採集
触角はいくぶん3<4節, 後肢段刻は短くやや不明瞭
だが、ほぼ6:5:3:0と5:5:2:1。

(〒233 横浜市金沢区六浦町3577)

関東地方におけるルイスクビナガハムシ の採集例

木附 嘉理



ルイスクビナガハムシ *Liliocerus lewisi* JACOBY は
栃木県を基産地として記録された美しいハムシであり、
関東地方においては奥日光・天城・大菩薩等で採集され
ているが多い種ではない。

私の手元に下記の採集例があるので報告しておく。

2 exs., 栃木県安蘇郡葛生町仙波(足利山地),

4. V. 1973, 筆者採集

1 ex., 群馬県武尊山, 17. VII. 1970, 小岩屋敏採集
足利山地・武尊山両所において本種の記録はなかった
ものと思われる。なお、武尊山の個体はまったく上翅の
黒条を欠いている(写真左)。

末筆ながら上記標本を恵与された小岩屋敏氏、ならび
に発表にあたり色々御指導いただいた平野幸彦氏に感
謝申しあげる。

(〒182 調布市柴崎2-18-1)

与那国島でアメイロカミキリを採集

深町 宗通

アメイロカミキリ *Stenodryas clavigera insularis*
YOKOYAMA は草間博士*によれば、石垣島・西表島お
よび台湾から記録されており、その中間にあたる与那国
島の記録はない。

筆者は1974年春、同島を訪れた際、本種を採集してい
るので報告する。

1♂, 与那国島宇良部岳, 2. III. 1974,

深町宗道採集

夜間、枯れづるをビーティングして得たものである。

* 草間慶一(1973), 日本産カミキリの生態と分布一覽表(新しい昆虫採集案内Ⅲ)

(〒845 佐賀県小城郡小城町二瀬川)

対馬でキリシマゴマフカミキリを採集

足立 一夫

1974年4月22日, 対馬厳原港の裏山で採集したクロマツ枯枝より同年8月17日, *Mesosa cribrata kirishimana* MATSUSHITA キリシマゴマフカミキリ1♂が羽化したので対馬新記録種として報告する。

この枯枝はキュウシュウトゲバ幼虫の寄生を確認して持ち帰ったもので, 計8本のそのほとんどを長さ5~8cm, 太さ1.4~1.8cmのサイズに切断し, ワンカップ大関の容器に全部を入れて保管していたもの。5月下旬~6月上旬にキュウシュウトゲバが羽化した後, そのまま放置していたところ, 7月上旬, 筆者が神奈川へ転勤となり, たまたま会議で北九州の自宅へ戻った折に本種に気づいたのである。この個体は体長7mmの小型のもので長野県峠産のフタスジゴマフカミキリと比較してみたが, 斑紋の変化以外, 体型的にも変わりないように思える。

本種の羽化した枯枝は長さ7cm, 直径1.7cmのもので, 中心部はキュウシュウトゲバが穿孔しており, 本種は樹皮下を食していた。脱出孔はキュウシュウトゲバが材の表面にはぼ円形の3mm前後の飛孔をあけるのに対し, 樹皮上に長径4mm, 短径3mmの楕円形の飛孔をあけていた。

なお, 付近のクロマツ太枝の樹皮下よりナカバヤシモモプトカミキリ蛹3頭を採集して持ち帰り, 1♂1♀が羽化, 他の1頭は採集の際に傷つけ, 不完全羽化となった。

対馬においてはキュウシュウトゲバ・ナカバヤシモモプトカミキリ2種の記録は数例しかないので参考のため記しておく。

<記録>

1. キリシマゴマフカミキリ
クロマツ枯枝: 22. Ⅳ. 1974, 対馬厳原
1♂羽化: 17. Ⅷ. 1974, 北九州市小倉区
2. キュウシュウトゲバカミキリ
クロマツ枯枝(8幼虫): 22. Ⅳ. 1974, 対馬厳原
5♂♂3♀♀羽化: 20. Ⅴ~6. Ⅵ. 1974,
北九州市小倉区
3. ナカバヤシモモプトカミキリ
クロマツ太枝樹皮下より3蛹: 22. Ⅳ. 1974,
対馬厳原

1♂1♀羽化, 1♂不完全羽化: 3~6. Ⅴ. 1974,
北九州市小倉区
(〒254 平塚市真土1781-1 (髙田工業所早雲寮))

キンケチャイロカミキリ沖縄本島の記録

杉野 広一

キンケチャイロカミキリ *Asaperda bicostata* HAYASHI は, 従来, 屋久島・トカラ列島・奄美大島・徳之島・沖永良部島に産することが知られていたが, 筆者は沖縄本島での記録を得たので, 報告しておく。

1 ex., 国頭村辺野喜,

16. Ⅳ. 1973, 杉野広一採集
7 exs., 国頭村宜名真,

17. Ⅳ. 1973, 杉野広一採集
いずれもアカメガシワに巻きついていたつる性植物のビーティングによって得た。

(〒663 西宮市上大市4-148)



ヒトオビチビカミキリを山梨県大菩薩で採集

武智 昭一

ヒトオビチビカミキリ *Sybra unifasciata* FUJIMURA は関東周辺においては, 奥日光・南アルプス・天城山より記録されているが, 筆者は山梨県大菩薩山塊において下記の通り採集したので報告する。

1♂, 大菩薩日川林道(初鹿野~嵯峨塩間),

29. Ⅶ. 1974, 武智昭一採集

なお, 本種の同定および, 本誌への報告を勧められた藤田宏氏に感謝する。

(〒197 福生市福生153)-9-506)

オキナワゴマフカミキリの宮古島の記録

高桑 正敏

先島諸島においてはオキナワゴマフカミキリ *Mesosa pictipes* GRESSITT は石垣島からのみ記録があり, ssp. *yayeyamai* とされている。筆者は宮古島において本種を採集したので記録しておく。

2♂♂, 宮古島友利, 14. Ⅵ. 1974

オオハマゴウの枯枝をビーティングして得た。石垣島産のものと特に差異はないように思うが, 1♂は上翅中央の白色帯がきわめてせばまるなどの特徴がある。

(〒235 横浜市金沢区六浦町3577)